



地域とともに、地域住民のために

熊本電鉄

安全報告書 (2020年)



熊本電気鉄道株式会社 自動車事業本部

1. 輸送の安全に関する基本方針

熊本電気鉄道株式会社は「地域とともに、地域住民のために」という基本理念のもと、地元の皆様にご利用いただく公共交通機関としての役割を果たしてまいりました。

安全に関する基本方針を次のように掲げ、安全輸送に努めております。

- (1) 安全の確保は輸送の生命である。
- (2) 規程の遵守は安全の基礎である。
- (3) 執務の厳正は安全の要件である。

また、安全に関する行動方針を次のとおり定めております。

- (1) 一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- (5) 事故・災害が発生したときは、人名救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

「お客様の安全」を最優先に、全ての従業員が自らの責任を自覚し、役割を遂行し、お客様からの信頼に応え、社会的責任を果たしてまいります。

2. 2019年度 輸送の安全に関する目標および達成状況

2019年度の輸送の安全に関する目標および達成状況は下記のとおりです。

有責事故件数の削減

種 別	目 標	結 果
貸切バス	ともに前年比50%減	0%の削減【未達成】
乗合バス		16.1%の削減【未達成】

有責事故の総件数の削減はできたものの、貸切バス・乗合バス共に目標は達成することができませんでした。2020年度も引き続き、目標達成に向けて努力いたします。

3. 2019年度 事故に関する統計

2019年度の事故発生件数です。

事故種別	発生件数
死亡事故	0件（前年度比±0件）
車両人身事故	0件（前年度比±0件）
車内事故	5件（前年度比－3件）

※自動車事故報告規則第2条に基づく重大事故は発生していません。

4. 行政処分後の改善状況等

2019年度、当社が受けた行政処分はありません。

5. 2019年度 輸送の安全のために講じた措置

輸送の安全を確保する為、2019年度は下記のとおり取り組みました。

(1) 経営トップによる営業所巡視・点呼立会

- ・輸送の安全に関する取り組み状況を経営トップが確認し、職場全体の安全や無事故に対する意識を高める為、毎月の初めに社長が当社唯一の運行営業所である辻久保営業所への巡視を実施し、始業点呼への立会を行っています（2019年度：12回実施）

(2) 一般モニター及び運行管理者、役職者による添乗

- ・社内役職者による添乗巡視を年に3回（交通安全運動期間内）実施し、接遇面や、お客様の立場に立った運転の評価を行います。
- ・運行管理者による添乗・指導を随時行い、プロドライバーとしての技術や接遇面・安全面における意識向上を図っています。
- ・一般の利用者の皆様にモニターとして活動していただき、日々の評価と定期的に開催する意見交換会の結果をフィードバックする形で、現場での指導に役立てています。

(3) 運転士の健康管理

- ・2019年度は定期健康診断や特定業務（深夜業）従事者健康診断、ストレスチェックを全ての運転士に対し実施。その他年齢による脳ドック検診等や、高リスク者に対するSAS（睡眠時無呼吸症候群）の検査を行っています。

※脳ドック・眼底検査…60・65・68・70歳に各到達時、雇用契約を延長した者に対して実施

※SAS（睡眠時無呼吸症候群）検査…2019年度、72名実施（運転士全体の約6割）

- (4) 輸送の安全に関わる月別重点目標の設定、点呼時の唱和による徹底
- ・運行営業所において月別の重点目標を設定、点呼場の上に掲示し、始業点呼時に唱和を行った上で点呼実施する事により、啓発意識の向上と注意を喚起しています。

2019年度、月別安全目標

	乗 合	貸 切
4月	新入学児の事故防止。乗客及び他車の動向注意。	安全な走行速度の遵守。
5月	生活道路での子供及び、自転車の飛び出し注意。	高速道路での車間距離確保と安全速度での走行。
6月	基本動作の徹底。	梅雨期に伴う気象情報、道路状況の把握。
7月	お客様着席後発車の徹底。高齢者の車内事故防止。	
8月	歩行者・二輪車の側方通過時の安全確認。	後退時における周辺注意の徹底、逆突事故防止。
9月	運行経路と運行時刻確認の徹底。お客様着席後発車の徹底。	立寄り施設におけるお客様の動向注意。
10月	早朝、夕暮れ時の早めの前照灯点灯。	接触事故防止。
11月	発車時の安全再確認。	車間距離の確保による追突事故の防止。
12月	周囲状況の確実な確認による安全確保。	他車の動向に注意。
1月	新年、新たな気持ちでの接客励行。安全輸送の徹底。	後退時における周辺注意の徹底、逆突事故防止。
2月	お客様着席後発車の徹底。高齢者の車内事故防止。	気象情報の把握、安全な運行ルートを選択。
3月	停車時、発車時のお客様動向注視により、車内事故防止。	後退時における周辺注意の徹底、逆突事故防止。車内衛生の徹底。

6. 輸送の安全に関する教育及び研修の実施状況

2019年度、運転士及び運行管理者に対する教育・研修の実施状況は下記のとおりです。

(1) 運転士に対する教育・研修

- ・新人運転士訓練…運転操作、接客案内・機器類の操作、車両点検整備等約3ヶ月間かけて訓練します。
- ・事故惹起者訓練…ドライブレコーダの映像も活用し、原因や癖、不注意な点を認識させたうえで、その矯正と基本操作の再徹底を図っています。
- ・接客不全者訓練…ドライブレコーダの映像を活用し、反省点や改善点を十分に認識させたうえで、運転士としての心構えの再教育、基本動作の再徹底を図っています。

(2) 営業所における教育

- ・ 自社車両による事故やヒヤリハット事案が発生した際、全ての運転士に対しドライブレコーダ映像を公開します。運行管理者より詳細を説明し、情報や注意点を共有することにより、類似案件の発生防止と運転士の意識向上を図ります。

(3) 運行管理者に対する教育・研修

- ・ 2019年度は八代ドライビングスクールによる運行管理者一般講習を受講しております。（運行管理者及び有資格者、計14名）

7. 輸送の安全に関するその他の取り組み

関係当局や自社行事に沿って、輸送の安全に関する各種取り組みを実施しています。

(1) 全国での取り組み

- ・ 全国交通安全運動（春・秋） ⇒ 「事故ゼロ」ワッペン着用等
- ・ 全国安全週間
- ・ 全国労働衛生週間
- ・ 全国火災予防運動
- ・ 年末年始無災害運動
- ・ 年末年始の輸送等に関する安全総点検

(2) 県での取り組み

- ・ 新入学期における子供の交通事故防止対策強化期間（4/8～15）
- ・ 年末年始の交通事故防止運動 ⇒ 「事故ゼロ」ワッペン着用等

(3) 地域と連携した取り組み

- ・ 出前講座（バスの乗り方教室）

※2019年度は西原小学校・弓削小学校・若葉小学校・植木小学校の4校（全て熊本市立）において実施しました。

(4) 当社における取り組み

- ・ 春と秋の交通安全運動期間（上記期間含む）と、年末年始の交通事故防止運動期間に合わせて、当社バス沿線にある小学校付近の横断歩道と、当社鉄道路線の踏切各所において、安全な横断への立会いを行っています。同期間内には同様に、辻久保営業所及び、鉄道の北熊本駅における早朝出庫点呼の立会い、車庫（辻久保営業所・蓮台寺車庫・菊池プラザ車庫）における運行前点検の立会いを実施しています。
- ・ 年間を通し毎週木曜日の出勤時間帯に、桜町バスターミナル（旧熊本交通センター）、鉄道の起終点にあたる藤崎宮前駅・御代志駅の計3ヶ所にて、あいさつ運動を展開しています。ご利用のお客様へのお声掛けはもちろん、ご不明な点へのお答えやお困りの際のお手伝い等、地域への貢献のみならず、社員一人一人のスキルアップと意識向上を目的としています。

※2019年度、44週にて実施

8. 内部監査の結果、並びに講じた措置

輸送の安全に関する基本方針に基づいて安全管理体制の機能状況や、運輸安全マネジメントの実施状況、マネジメントレビューを踏まえての「今後の取り組み」について、確実に実施されているか等を確認する為、自動車安全管理規程に基づき経営トップ、安全統括管理者、運輸部長（兼営業所長）を対象に2020年3月、内部監査を実施しました。

監査において運輸安全マネジメント体制は概ね確立されているものの、更なる改善が求められる事項について、実施報告書の内容を2020年4月に発足した新体制下（自動車事業部業務課、辻久保営業所、整備課、及び観光事業部貸切課）における連携のもと、確実に実施し、更なる安全管理体制の強化を図るよう求めました。

9. 安全統括管理者

執行役員自動車事業部長 坂本 昭文

10. 安全管理規程

別紙1 【熊本電気鉄道株式会社 旅客自動車運送事業安全管理規程】 参照

11. 輸送の安全に関する情報の伝達体制その他の組織体制

別紙2 【安全マネジメント組織体制及び指揮命令系統図（自動車部門）】 参照

別紙3 【事故・災害時の連絡体制】 参照